

理科	科目 化学基礎			
	(必修 選択)	授業時数 履修学年	3 3	単位 学年
目 標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な基本的技能、探求する力、探求しようとする態度を養う。			

●学習内容

1 学期	30 時間	2 学期	45 時間	3 学期	30 時間
第 1 編 物質の構成と化学結合		第 3 章 粒子の結合	10	第 2 章 酸と塩基の反応	10
第 1 章 物質の構成	10	第 2 編 物質の変化		第 3 章 酸化還元反応	20
第 2 章 物質の構成粒子	10	第 1 章 物質量と化学反応式	25		
第 3 章 粒子の結合	10	第 2 章 酸と塩基の反応	10		

教材	授業の進め方
教科書:「化学基礎」数研出版 Visual Select 化学基礎 数研出版 自主作成教材(プリント)	物質とその変化について理解を深め、科学的に探求できるようにすることを目指して学習を行う。 教科書、プリントを中心に授業を進める。問題演習を通して法則を理解できるように進める。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技能（技術）	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	物質とその変化について理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけることができた。	観察、実験などを行い、科学的に探求することができた。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探求できた。
	習得する (わかる)	物質とその変化について理解できた。	観察、実験などを行い、現象を表現することができた。	物質とその変化に主体的に関わることができた。
評価方法		定期テスト・小テスト・演習プリント・問題集演習・学習振り返りシート	定期テスト・学習振り返りシート・レポート	演習プリントへの取り組み・問題集演習への取り組み・学習振り返りシート・レポート・授業態度

単元別 評価規準

第1編 物質の構成と化学結合

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	化学と人間生活について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けることができる。	身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現することができた。	物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などの実験に主体的に関わり、他者と協力しながら科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
	習得する (わかる)	化学と人間生活について、理解することができた。	身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察することができる。	物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などに主体的に関わるができる。

第2編 物質の変化

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	物質と化学反応式、化学反応、化学が拓く世界について、観察、実験などに関する技能を身に付けることができた。	物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現することができた。	物質と化学反応式に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けており、実験に主体的に取り組むことができている。
	習得する (わかる)	物質と化学反応式、化学反応、化学が拓く世界について理解することができた。	物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして理解することができた。	物質と化学反応式に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。